

2020年度【通年】学Booo 企画書兼募集要項

学Booo名	① 座学型	② PBL型	③ 体験・実習型	開講期		
			○	通年	前期	後期
	日本の伝統美「和のテイスト」研究会			○		
担当者氏名	久世 奈欧 (ライデザイン学科commons) 藤原 加織 (学務企画部) 真東 美也子 (本学卒業生・旧職員)					
目的	<p>●日本、特に京都に受け継がれる伝統文化の中から日本人の美意識を探求し、長い歴史で醸成され洗練された「和のテイスト」を実生活の中で活かす。</p> <p>●美意識の理解から自身の感性と教養を高め、「和」の精神性をもった心豊かな国際人への成長をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統文化からファッション(衣装・髪型など)の歴史・変遷について知る 美しい所作を知る・体得する(伝統芸能の体験など) きもの扱い方を知り、着付けを体得する(浴衣から晴れ着、「十二単衣まで」) 毛筆・墨による「書しょ」の魅力を知り、自分の名前を毛筆で美しく書く 伝統文化作家・継承者を訪ね、作品鑑賞と和の美に対するお話しを伺う 					
概要	<p>京都は、日本の伝統文化が大切に受け継がれ、生活の随所に「和のテイスト」が息づいている街です。この活動では、資料からの学習と併せて、実地での見学あるいは伝統文化に携わるゲストを迎え、日本人の繊細かつ大胆なデザインセンスに触れ、日本の伝統美についての理解を深めます。</p> <p>これまでには浴衣・着物・婚礼衣装の扱い方や着付け、地毛による結髪(日本髪)の公開講習会、書道、十二単衣の着付けも行いました。フィールドワークとしては、能舞台を訪問し、舞台上での構えや型の体験、能面・能装束の見学、祇園祭鉦立ての見学、国立文楽劇場での芸芸員(語りの大夫さんや人形遣いの方)の解説と文楽鑑賞、老舗菓子店では職人さんによる和菓子づくりを見学、西陣織発祥の地である西陣の史跡、伝統産業の老舗の並ぶ寺町界隈の探訪などに出かけました。</p> <p>また、「十二単衣」(女房装束)の着付け(衣紋)を学び、右京区の市民講座で発表しました。指導・コーディネーターは京都の能楽師の子女であり、本学卒業生・旧職員(女性キャリア開発研究センター)が担当します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 舞台芸術・きもの着付けなどの見学・体験から、美しい所作や立ち居振る舞いを学びます。 本学所有の財産、「十二単衣」(女房装束)を用いて、座学とともに着付けの作法を将来的には、地域のイベントなどでの教養講座として披露できればと考えています。 毛筆・墨による「書」の濃淡・空間の美しさや躍動感を知り、社会人として身に付けておいてほしい、「筆で字が書ける」ことをめざします。 まずは、自分の名前を美しく書けるようになることから始め、楽しみながら文字を書けるように進めます。 伝統工芸作家を訪ね、伝統文化継承にまつわるお話や作品に込めた思いを伺い、できれば体験学習(陶芸など)を行う予定です。 					
実施スケジュール	初回日	未定 概要説明 (実施日は、女性キャリア開発研究センターへ問い合わせを)				
	初回開催場所	未定 (開催場所も、女性キャリア開発けんきゅうセンターへ問い合わせを)				
	<ul style="list-style-type: none"> 毎月2回程度活動予定。(講師による指導・実演・講習とメンバーでの学習) 夏期を中心に、フィールドワークも予定しています。 活動スケジュールはメンバーと調整して決定します。 					
学生への連絡事項	<p>幅広い分野・テーマの中からメンバーに学んでみたいものを選択してもらいます。自身の学びを、人のために役立てる機会も考えていきましょう。</p> <p>日本の伝統文化から「美」を学び、体得し、背筋をピンと伸ばした、爽やかな女子大生になりませんか？</p>					